

【福島市】

会 議 名	平成30年11月2日臨時記者会見
日 時	平成30年11月2日（金） 午前10時～10時14分
場 所	庁議室

発言者	内 容
商工観光部 次長	<p>開会</p> <p>それではただいまから記者会見を始めさせていただきます。本日もご説明いたします内容は、東北絆まつり2019福島の開催についてです。まずは木幡福島市長からご説明いたします。</p>
木幡市長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>東日本大震災からの復興に向かう東北の元気な姿を発信するため、東北六魂祭の後継として新たにスタートした東北絆まつり。2019年の開催地が福島市に決定しましたのでお知らせします。開催については2019年5月中旬から6月中旬までの間の土曜日と日曜日の2日間の開催を予定しています。パレード会場や実施内容など祭りの概要は関係機関と協議を進めたうえで、できるだけ早い時期に公表してまいりたいと考えています。東北絆まつりは、本年は盛岡市で6月2日・3日の土日に開催され、多くの来場者の皆様に大きな感動を与えました。来たる福島市開催においても、県内自治体の協力をいただきながら、福島市、そしてオール福島の感謝の気持ちと魅力を発信するとともに、東北の絆、福島の絆、そして復興への想いを強くしていきたいと思えます。また、東京2020オリンピックの福島市での野球・ソフトボール競技開催を見据えた趣向を取り入れるなど、来場される皆様に東北の元気あふれる祭りを楽しんでいただける祭りにしたいと考えています。今後祭りの開催に向け、福島市、福島商工会議所、福島わらじまつり実行委員会が一体になって、万全の体制で準備を進めていきますが、市民の皆さま及び関係機関の皆様には会場周辺を中心に大規模な交通規制の実施が想定されます。ご不便をおかけすることになりますが、なにとぞご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。どうぞ来年の東北絆まつりにご期待いただきたいと思います。私からは以上です。</p>
商工観光部 次長	次に、福島商工会議所渡邊会頭よりご説明申し上げます。
渡邊会頭	おはようございます。ただいま木幡福島市長から発表がありまし

【福島市】

	<p>た通り、東北六魂祭の後継イベントである東北絆まつり2019の開催地が福島市に決まりました。前回の平成25年の六魂祭のときには、福島市でも25万人の方々が全国より来場され、大変意義のあるお祭りでした。今この祭りも東北絆まつりと名称を変え、昨年仙台、今年盛岡、どちらも観客数が前回よりアップしているような形で推移しています。来年の福島においても、私たち福島商工会議所は、福島市、それから福島わらじまつり実行委員会とともに、おもてなしの気持ちを具体的に出して、全国からあるいは海外から来るお客さまにも喜んでいただけるよう、そして震災復興にいろいろな形でご支援いただいている皆様へ感謝の気持ちを表せるように工夫をしていきたいと思っております。福島県には10の商工会議所がありますが、そちらの方にもこれから呼びかけをして、できるだけ、わらじまつりだけでなく福島県にあるいろいろなお祭りや物産をこの機会に何らかの形で発信していければ集客と全国から来る皆様、そしてオール福島の皆様にも意義あるものと喜んでいただけるのではないかと思います。そのようなことを我々民間の団体としては考えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>商工観光部 次長</p>	<p>次に福島わらじまつり実行委員会小河委員長よりご説明申し上げます。</p>
<p>小河委員長</p>	<p>おはようございます。ただいま木幡福島市長ならびに福島商工会議所渡邊会頭から発表がありました通り、来年東北絆まつりが福島で開催されることが決まりました。東北6市の祭りが勢ぞろいするこの祭りは、全国から足を運んでいただける素晴らしい観光資源であります。2011年に仙台市で始まった東北六魂祭から福島わらじまつりも参加してまいりましたが、2巡目となる東北絆まつり2019福島においても、福島わらじまつりは全力で参加してまいります。また、毎年8月に開催される福島わらじまつりは、来年は記念すべき50回を迎えます。翌年2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにつなげるべく、実行委員会では更なる祭りの盛り上げの強化に取り組んでまいります。東北絆まつり・50回記念福島わらじまつり、東京オリンピック・パラリンピックにおいて祭りのにぎやかさを存分に引き出し、福島の魅力を全世界に発信してまいります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。以上です。</p>
<p>商工観光部 次長</p>	<p>質疑に入る前に、事務スケジュールについてお伝えさせていただきます。本日11月2日より、「東北絆まつり2019福島」の開催市事務局におきまして、祭りの企画・運営・警備などを担っ</p>

【福島市】

	<p>ていただく共同企業体の公募を開始いたします。公募スケジュールなどの詳細につきましては、福島市商工会議所のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは質疑に移らせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
読売新聞	<p>先ほど市長のほうから、オリンピックの野球・ソフト開催に絡んだような趣向を取り入れたいとお話しがあったのですが、現時点でどんなことをお考えになっているかということをお教えしてもらってもよろしいでしょうか。</p>
木幡市長	<p>具体的にはこれから検討していきたいと思いますが、東北絆まつりは、我々は今オリンピックの開会式で取り上げていただけないかという要望を続けているわけです。それに向けてやはりオリンピックのムードを調整して、そして実際の絆まつりが取り上げられるような、そういったものをまずは仕掛けていきたいと思っておりますし、それからなんといっても福島市で野球・ソフトボールが開催されるということで、それにちなんだ趣向をぜひ打ち出していきたいと思っております。</p>
福島民報	<p>前回の東北六魂祭では、国道4号を全面的に通行止めにしていたと思うのですが、今回もその予定でしょうか。</p>
木幡市長	<p>会場は前回の開催をベースに考えておりますけれども、これは実施内容と絡めていろいろまた検討しなければいけないので、この内容と、そしてまた警察をはじめとする関係機関と協議を進めたうえで会場についてもできるだけ早い時期に公表していきたいと思っております。</p>
河北新報	<p>前回の六魂祭の集客25万人でしたが、先ほど指摘があったように六魂祭から絆まつりになると参加者が増えるということで、盛岡だと24万人が絆まつりになった時に30万人くらいになっているのですが、福島の絆まつりで目標とする集客数みたいなものは何かありますでしょうか。</p>
木幡市長	<p>はい。先ほど会頭からもぜひ前回よりアップということで申し上げたわけですが、盛岡は私どもの今の持っている数字で言うとうと25万人か30万人だったんです。我々はぜひ、前は25万人だったので、こういう絆まつりが浸透してきていることもあり、30万人を目指して頑張りたいと思っております。</p>

【福島市】

福島民報	東北六魂祭の際は、結構除染とか、国道4号の整備とかもかなり絡み、復興の途中のお祭りのような形ではありましたが、今回はどう前回と違うテイストを出していくとか、何かテーマみたいなものはありますか。
木幡市長	やはり先ほど申し上げましたように、これまでのご支援に対する感謝と、復興に取り組む我々の元気な姿を発信するということですから、その点では復興とか、今後の未来に向けた創成といったものがテーマになってくるかとは思いますが。具体的なコンセプトはまた実行委員会ですっきりと詰めていきたいと思っております。
民友新聞	前回よりも増える目標ということですが、前回は警備の面で結構大変で、福島の大会に限らず他の地もそうでしょうけど、そういう面で前回は踏まえて考えていることはありますでしょうか。
木幡市長	前回の検証をして、その時に改善すべきところとかこういったことをいろいろ考えておりますが、ひとつ考えられるのは内容的にイベントを充実させるのはさることながら、やはりこれは一箇所に集まるとどうしても混雑が大きくなるので、会場はできるだけ盛り上がりがない程度に分散をさせて、そして集中の危険性をできるだけ避けて、安心・安全に皆さんにお楽しみいただけるというようなことを今考えております。
商工観光部 次長	閉会 他にございませんか。 無いようですので、以上で記者会見を終了させていただきます。